「小浜の森の秋の植物」③（平成２９年１１月編）撮影・作成：流尾哲也

サキシマフヨウの花は屋久島では１０月が見ごろだが、松戸では１１月が花の見ごろだ。

マユミの果実（朔果）が裂けて出た赤い仮種皮が美しい。赤い仮種子の中に種子がある。

スイカズラの花（５月中旬）に気づいても秋の黒い果実（左）を見るのは珍しい。

果実（液果）は２個並んで付き中に２個の種子。

（参考下）花は白色で、黄色いのは花の終り。

秋の森にはマムシグサの無数の果実が真っ赤に熟して人目を惹く。
（参考：右写真）４月末に咲いた花（仏炎苞）はサトイモ科独特の形状で、これが緑色だとアオマムシグサ。

ヒラタケは天然ものも腐りかけの切り株などでよく見かける食用茸だ。この榾木のはまだ成長過程で小さい。（左の写真、倉庫前）

食べられるかもと家に持ち帰ったが、正体不明で食べなかった。（右は上から見た写真）

ホコリタケかスギタケの仲間なら食べられる。茎がおいしそうに見えたが不明。